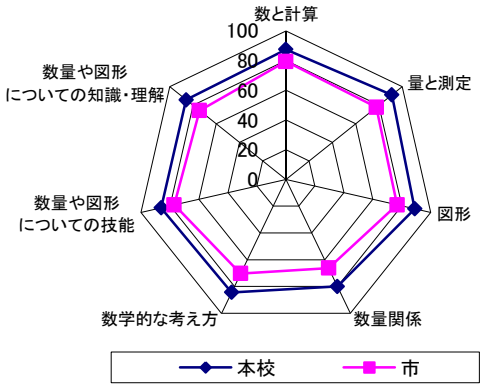
宇都宮市立今泉小学校 第４学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	87.5	79.4
	量と測定	91.2	77.9
	図形	88.9	76.8
	数量関係	80.0	66.2
観点別	数学的な考え方	84.4	70.2
	数量や図形についての技能	86.1	77.1
	数量や図形についての知識・理解	85.8	74.4



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	・市の平均正答率を8.1ポイント上回っている。がい数の単元では市の平均点に対し9ポント本校は高くななっている。誤答が多かったのは「割り算2」の単元で，余りを出す計算であった。	・割り算の計算においては、位取りをよく確認して丁寧にノートに書くなど，自分で見やすく計算式をかくよう繰り返し指導する。また，数の相対的な見方，十進法の位取りを数直線や位取り板を用い復習させる。
量と測定	・市の平均を13．3ポイント上回っており，正答率が高かった。角度の問題や面積の問題など理解することができていた。	・三角定規やコンパス・分度器を使って測ったり作図したりする操作活動を増やし，体験を通して量と測定に対する理解を深めさせていく。
図形	・市の平均を12．1ポイント上回っていた。しかし，「球の半径から球が入る箱の辺の長さを求める」問題で誤答が見られた。	・三角定規や分度器を使ったり方眼用紙を使用したりして，垂直・平行な直線を弁別する方法を再確認する。また，図形についての豊かな感覚を身につけさせる。
数量関係	・市の平均に比べ13．8ポント上回っていた。「折れ線グラフを読む」問題はよくできていた。しかし，2次元表を利用し問題を解く設問では誤答が見られた。	・2次元表のそれぞれの欄がどのような意味を持っているのか復習し，類題を解かせる。